清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会設置要領

(趣旨)

第1条 この要領は、清瀬駅周辺の未来構想ビジョンを策定するにあたり、清瀬駅周辺のまちの将来像や実現方法等について意見交換を行い、幅広く検討するために設置する「清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会」（以下「協議会」という。）に関して必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 協議会は、清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくりに関する必要な事項について検討を行う。

(検討事項)

第3条 協議会は、次の各号に掲げる事項について、協議・検討を行う。

- (1) 清瀬駅周辺のまちの将来像と実現方法について。
- (2) その他市長が必要と認めること。

(組織)

第4条 協議会は、25人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者で構成する。

- (1) 清瀬駅周辺で活動している団体
- (2) 清瀬駅周辺の利用主体
- (3) 交通事業者
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 医療従事者
- (6) 一般公募による市民
- (7) その他市長が必要と認める者

3 協議会には、会長及び副会長を各1名置き、委員の互選により定める。

4 会長は、協議会を代表して会務を総括する。

5 会長に事故があるときは、副会長が会長の職務を代理する。

6 会長が必要と認めるときは、協議会設置後においても、前2項に掲げる者に加えて委員に追加または会議に召集することができる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、令和8年3月31日までとする。

(会議)

第6条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 協議会の会議に会長が必要と認めるときは、委員以外の者を招集して意見等を聴き又は委員以外の者から資料の提出を求めることができる。この場合において、当該委員以外の者はオンライン会議システムにより出席することができる。

4 協議会の会議は原則、公開とする。

5 オンライン会議システムにより会議に参加した委員は、会議に出席したものとみなす。

(傍聴)

第7条 傍聴に関する事項は「清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会傍聴規程」により定めるものとする。

(守秘義務)

第8条 委員は、協議会において知り得た情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。ただし、市が公表した情報については、この限りでない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、経営政策部未来創造課において処理する。

(委任)

第10条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この要領は、令和7年4月1日から施行する。